

たしろ
田代 もえ
萌こばやし
小林 ちおり
千織

緑のエッセー

第24代日本さくらの女王として、これからの2年間、国内各地・世界各国を訪れ、友好の和を広げていくという素晴らしいチャンスを頂けたことを嬉しく思うとともに、その責任の重さを痛感しています。国際親善交流に努め、地球環境保全を訴えていくとともに、文化交流も念頭に置いた活動を頑張りたいと思います。

私は自然豊かな福井県で育ち、森や木と親しんできました。幼い頃から弟と一緒に森へ行き、夏は虫採り、冬はスキーを楽しみました。まわりを木に囲まれた場所での横になるのが好きでした。見上げた森はいつも木漏れ日

でキラキラと光っていましたが、とくに冬の森は格別。雪の反射も加わって、光の世界にいたようでした。

また、木製品では積み木が大好きでした。家を作るときに余った木材を利用した積み木で遊んでいるうち、木の模様(木目)が全て違っていることに気づき、母にその理由を尋ねたことを覚えています。

子どもたちに森や木、木製品に関心を持ってもらうためには、私が積み木で経験したように自分から興味を持つことが大切ではないでしょうか。色々な

木目・形の積み木サイズの木を用意して幼稚園で遊んでもらったり、少し年上の男の子には森の冒険ツアーや秘密基地づくり、女の子には木の実のケーキづくりや森でのお茶会が喜ばれるのではないかと思います。

私にとって森は子どもの時に見たキラキラな夢の世界であり、木は毎日遊んだ暖かみのある存在です。さくらの女王の活動を通して、この素晴らしい森や木の姿をより多くの方に知っていただきたいと思っています。



●プロフィール
小林 千織(福井県出身)
1992年6月6日生まれ(19歳)
趣味:弓道、合唱、読書



●プロフィール
田代 萌(東京都出身)
1990年6月5日生まれ(21歳)
趣味:クラシックバレエ、ジャズダンス、旅行

2012さくらプリンセスとして、人を笑顔にしたり、地域を活性化するお手伝いができることを嬉しく思うと同時に、その責任の重さを感じています。普通の大学生である私を歓迎してくださる皆さんのため、少しでもお役に立ちたいと思います。

旅行や人とのふれあいが大好きなので、地域の方々との交流を楽しみにしています。皆さんとの出会いを大切に、人に優しくできる強さを身につけたいと思っています。

私は東京都武蔵村山市の市内では貴重になつてしまった緑豊かな環境の中で育ちました。私が通った中学校は市内で一番古く、春

になると二階の教室の窓いっぱいには桜が見えて大変綺麗でした。

同じ中学校出身の祖父と父にもこの桜の思い出があることを知り、世代を超えて同じ風景を共有していることに感動しました。また、実家が呉服屋だったこともあって着物や下駄が大好きで、地域のお祭りでお囃子(はやし)の太鼓を叩いたり、お面をかぶって踊ったりして子ども時代を過ごしました。

着物や羽子板、独楽(こま)など、伝統的なものにふれることが、私にとって森や木に親しむ機会でした。プラスチックや金属とは違

い、木には暖かさや柔らかさ、香りがあります。また、傷ついたり割れたりした箇所も使ううちに丸みを帯び、手になじんできます。森や木製品は、古くからの自然や歴史、伝統がいまも自分の隣にあると感じさせてくれ、安心感を与えてくれます。

さくらプリンセスとしての活動を通して、こうしたふるさとの森や木の魅力を伝えることができるように頑張りたいと思います。

第24代日本さくらの女王と2012さくらプリンセスは、本年3月3日、財団法人日本さくらの会主催「日本さくらの女王選出大会」で選出されました。2年間の任期中は、さくらの親善使節としてアメリカ、ドイツに派遣されるほか、国内各地で催される「さくら祭り」、「さくら植樹祭」等に出席します。

※日本さくらの女王・2012さくらプリンセスの活動等の詳細は、財団法人日本さくらの会ホームページをご覧ください。 <http://www.sakuranokai.or.jp/>